

年頭のあいさつ

節目の年を越えて
新たなステージへ

市長 奥ノ木 信夫



新年明けましておめでとうござい
ます。市民の皆様には、平成31年の清々
しい新春を健やかに迎えのことと心
からお慶びを申し上げます。

早いもので2期目の市政運営を担っ
て1年が経とうとしています。昨年を
振り返りますと、本市にとって大きな
節目の年でありました。まず、中核市
移行に伴う権限の移譲により、新たに
設置した川口市保健所では、60万市民
の目線に合った、きめ細やかなサービ
スを提供できるようになりました。ま
た、「3大プロジェクト」においても、
市役所新庁舎1期棟の工事着手、火葬
施設「川口市めぐりの森」の開設と「イ
ーナパーク川口」の一部供用開始、川
口市立高等学校の開校と、全てが順調

に進んでいます。

さらに、節目の年にふさわしく、15
回目の「SKIPシティ国際Dシネマ
映画祭2018」、40回目の「たたら
祭り」、4回目の「川口市市産品フェ
ア2018」、4年ぶりの「第3回川
口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり」な
ど、多くのイベントが例年を上回る規
模で開催されました。

これらはひとえに、市民の皆様のご
理解・ご協力の賜物と、改めまして心
から感謝と御礼を申し上げます。

さて本年は、まず県内初の公立夜間
中学を4月に開設します。何らかの事
情により十分学ぶことができず学び直
しをしたい方や、日本の文化や言葉を
習得したい外国の方が夢や希望を持っ

て学べる学校となるよう鋭意準備を進
めています。

また、医療分野では、小児夜間診療
体制の整備に取り組んで参ります。年
間を通じて準夜帯における子どもの診
療を1カ所で行う拠点、いわゆるセン
ター化を進め、保護者の不安の解消及
び利便性の向上を図って参ります。

そして、川口市政の大きな節目とな
った昨年に続き、今年さらには、国・
県に長年要望してきた事項について、
明るい兆しを市民の皆様にお示しでき
るよう一層努力して参ります。

結びに、新しい年が市民の皆様にと
りまして、明るく希望あふれる飛躍の
年となりますよう、心から祈念申し上
げ、年頭のあいさつといたします。

愛着をもって 末永く暮らせる
まちの実現に向けて

議長 関口 京子



新年明けましておめでとうございま
す。市民の皆様には、輝かしく希望に
満ちた新春をお迎えのことと心からお
慶び申し上げます。

昨年は、本市にとって、中核市へと
移行し、保健所の設置をはじめ、多く
の権限が県から移譲され、より一層60
万市民の目線に合わせた独自の施策の
実現に向けて大きな変革の年となりま
した。

また、二元代表制の一翼を担う本市
議会では、複雑化・多様化する市民ニ
ーズを市政に反映させるため、積極的
な政策提案を行い、条例2件を議員提
案によって制定いたしました。

一つ目は3月定例会において、人と
動物との調和のとれた共生ができる地

域社会実現のため、「川口市動物の愛
護及び管理に関する条例」を、二つ目
は9月定例会において、減少傾向が続
く町会・自治会への加入及び活動への
参加を促進するため、「川口市町会・
自治会への加入及び参加の促進に関す
る条例」をそれぞれ全会一致で可決い
たしました。

また、一般質問では、延べ57人が登
壇し、中核市に関係する質問をはじめ
め、防災、福祉、産業振興、教育及び
都市基盤整備など、多角的な視点から
多くの質問や提言が行われ、市民生活
向上のために活発な議論がなされまし
た。

意見書では、「被災者への支援策の
拡充を求める意見書」や「介護職員の

人材確保のためさらなる処遇改善等を
求める意見書」など5件を可決し、内
閣総理大臣をはじめ、関係大臣あてに
送付いたしました。

新年を迎えるにあたり、本市議会と
いたしましては、中核市「川口」とし
て誇りと責任を持ち、市民の皆様がわ
がまち川口に愛着をもって末永く暮ら
していけるよう、政策提案機能の充実
強化など議会活動に誠心誠意取り組ん
で参りますので、より一層のご支援、
ご協力を賜りますようお願い申し上げ
ます。

結びに、本年が市民の皆様にとりま
して、幸せで実り多い年となりますこ
とを心から祈念申し上げ、新年のあい
さつといたします。